

島問題發生以來中ソ及び英佛米は共同利害關係の立場となつた漁區問題に關し日本はソ聯に對して政治問題として解決せんと企圖するがソ聯は暴日の陰謀を能く洞察して最後迄強硬なる態度を取るべきであるしからは日本の陰謀も事實によりて證明されよう

内閣情報部三・三

情報第四號

重慶發
—重慶ロイテル特報(二月廿八日)—(臺灣總督府交通局遞信部聽取)

チヤイナタイムス紙は本日(二月廿八日)の紙上第一面に「上海の治安を攪亂してゐる者は誰か?」の大見出しを掲げ次の如く論じてゐる。

日本側では單なるテロ事件を目して滿洲占領前並びに蘆溝橋事件勃發の直前に於ける事件と同様に看做し之を以て上海共同、フランス兩租界回收の口實たらしめんとしてゐる。若し日本側に於て云ふ如く之等テロ事件が支那人の裏切者に對し加へられた愛國的所業なりとせば之は全支那人に取つて兪怪の幸と云はねばならぬ。若し日本にして之等裏切者が國家に不利益な活動をする爲に外國租界の利用を援助せずとせば租界内ではテロ事件は後を斷つに至らん。故に各友邦と上海兩租界當局とに對しても次の事をいつきりさせて置く。

(1) 從來兩租界の平和秩序は常によく維持されて來た。若しその平和秩序が紊されたとせば單に上海のみならず東洋平和をも紊したものととして日本はその責任を負ふべきであ

る。

(2) 今日日本は租界内の秩序を紊るのみならず更にその地域の支配権をも要求してゐることは明白な事實である。かかる行動は日本軍の海南島上陸、香港領空爆等の如く侵略行動を起す前列國の態度をテストする目的で敢行した行動とも見られる。

(3) 租界は支那領土なるも支那政府がその地域の返還を受くる迄は租界の行政機關は該地域の主權を握る。故に該機關は租界内に於て支那人の權益保護の義務あり。

(4) 陳赫暗殺事件は日本側が裏切者を利用して爲にのみ惹起せるに非ず租界を支那政府に對する陰謀の本據たらしめんとせる爲惹起せるなり。若し租界當局にしてテロ事件の絶無を期すならば先づ租界から日本の暴力機關を排除し次いで隙の如き裏切者を追放すべきである。

(5) 日本側は陳赫事件の發生後租界内の支那人の言論に極度の壓迫を加へてゐる。租界當局は之に對し早速合法的賠償を取り支那人側にも著述言論の自由を保障すべきだ。日本は今後も租界内であらゆる種類の反支的宣傳や實行を續けて行くと思はれるが租界當局は常にフェアプレーの精神で進みたい。正義は決して力の前に屈しないであらう。」

内閣情報部三・三 情報第五號

成都支那中央通信社報 (二月二十八日) (朝鮮總督府遞信局譯取)
重慶報

(1) 支那に對する同情と友好を示したメツセーヂがイギリスの労働青年團より齎された。イギリスの建築技術聯盟を代表して書記長デヨージ・ハウスは蔣介石へ次の如きメツセーヂを寄せてゐる、「イギリス並に全世界民主國の民衆は殘酷なる非道と野蠻な日本戰器に對し自由を保持せんとする支那民衆の高邁な英雄的闘争に對し同情と賞讃を以てこれを支持する」。又機關士及び火夫より成るイギリス聯合協會の書記長W・J・R・スカンスは蔣介石へ次の如きメツセーヂを寄せてゐる、「我々は歴史的優勢に對して行つてゐる貴下の高邁な偉業に對し敬意を表する、我々は自由と世界の平和のための抗争に於て貴下が凱歌を擧げるものと確信してゐる」。又イギリス全國合同家具同業組合のロンドン監理委員會は蔣介石へ次の如きメツセーヂを寄せてゐる、「余は我が組合員全部が支那民衆の國家獨立戰爭を支持するため出来るだけのことをする決心をしてゐることを誓ふ、日本の對支攻撃の第一日より我が組合は會員の製作する如何なる家具にも日本産の材料及び其の他の材料を使用することを禁止してゐる」。其の他多數より同様なメツセーヂが齎された。